

【別表】 子どものかかりやすい病気

※登園許可証が必要です

| 病名 | 諸症状 | 潜伏期間 | 感染経路 | 出席停止の目安 | 予防接種 |
|-----------------|-------------------------------------|--------|------|--------------------------------------|------|
| 麻疹（はしか） | 発熱、くしゃみ、充血、口内に白い斑点、発疹 | 8～13日 | 飛沫感染 | 解熱後3日を経過するまで。 | 有 |
| 風疹（三日はしか） | 麻疹と異なり、咳、結膜充血などは少ない。耳の裏のリンパ腺が腫れる。 | 14～21日 | 飛沫感染 | 発疹が消失するまで。 | 有 |
| 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | 発熱、耳の下が腫れて痛い、嚥下困難 | 14～21日 | 飛沫感染 | 耳下腺等の腫脹が消失するまで。 | 有 |
| 水痘（みずぼうそう） | 軽い発熱とともに発疹ができる | 11～21日 | 飛沫感染 | すべての発疹が痂皮化するまで。 | 有 |
| インフルエンザ | 発熱、咳、のどが痛む、節々が痛む | 1～2日 | 飛沫感染 | 発症から5を経過し、かつ、解熱後3日を経過するまで。 | 有 |
| 百日咳 | 日増しにひどくなる咳、痙攣性の咳 | 10日以内 | 飛沫感染 | 特有な咳が消失するまで。 | 有 |
| 流行性結膜炎（はやり目） | 白眼が赤く見える、瞼が腫れ目やにが出る | 4～7日 | 接触感染 | 治癒するまで。 | |
| 咽頭結膜炎（プール熱） | 咽頭炎、結膜炎、発熱 | 4～7日 | 飛沫感染 | 症状消失後、2日を経過するまで。 | |
| 溶連菌感染症 | 発熱、扁桃腺の発赤、苺舌 合併症として腎炎、リウマチ熱 | 2～3日 | 飛沫感染 | 抗生剤内服開始後、24時間以上経過し、発熱、発疹の諸症状が回復するまで。 | |
| とびひ（伝染性膿痂疹） | 虫さされ、発疹などをかきむしった皮膚にブドウ球菌などが感染しておこる。 | 2～10日 | 接触感染 | 患部を覆えれば登園可能。覆えない場合には痂皮が脱落するまで。 | |

| 病名 | 諸症状 | 潜伏期間 | 感染経路 | 出席停止の目安 | 予防接種 |
|-----------------|--|--------|-------------------------------|------------------------------|------|
| ヘルパンギーナ | 発熱、のどの痛み、口内の小発疹 口内の症状が強く食欲低下になりやすい。 | 2～7日 | 飛沫感染 | 解熱し、全身状態が回復するまで。 | |
| 手足口病 | 手のひら、足の裏や甲、口内の小発疹 | 2～7日 | 飛沫感染 | 全身状態が回復するまで。 | |
| 伝染性紅斑 (りんご病) | 頬に境界のはっきりした発疹が現れ、続いて手足に 広がる | 17～18日 | 飛沫感染 | 全身状態が回復するまで。 | |
| 感染性胃腸炎 | 嘔吐と下痢が突然現れる。発熱を伴う場合もある。 | 1～3日 | 飛沫感染 経口感染 唾液・便か らの感染 | 嘔吐・下痢症状が治まり、全身状態が回 復するまで。 | |
| 突発性発疹 | 高熱が2～3日続き、熱が下がると体中に発疹が 出る。 | 2～14日 | | 解熱し、全身状態が回復するまで。 | |

【水いぼについて】

夏のプールの時期になると話題になるのが「水いぼ」についてです。

処置についての医師の見解や保育園の判断は様々ですが、当園におきましては、集団生活・共同生活の場であることをふまえ、他児への感染を防ぐ意味でも処置をしていただく方向でおります。

処置には日数を要する場合もあることから、症状が見られた場合には早い時点で個別にお声掛けさせていただくこともあるかと思いますが、ご理解と受診のご協力をお願い致します。

【水いぼとは】

伝染性軟属腫ウイルスの感染によって起こるイボの一種です。イボが破れると中のウイルスが飛び散り、他の部位に移るとされています。